車いすラグビー「審判ジェスチャー図鑑」

車いすラグビーを観戦する時、気になるポイントのひとつが審判のジェスチャーです。これを押さえておけば、車いすラグビーの魅力がグッと上がるジェスチャー図鑑！ぜひ、気になった審判のジェスチャーを照らし合わせて試合をご覧ください！

基本的な審判ジェスチャー

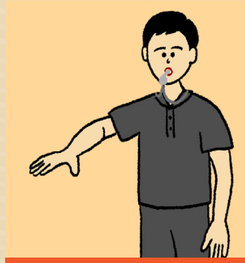
レディーシグナル
試合を開始／再開する準備ができていることをパートナーに知らせる合図

試合開始・試合再開
試合を開始、または再開する合図

試合停止
試合停止の合図

トライ
トライ（得点）の合図

キャンセルトライ
宣言されたトライを取り消す



ヴィジブル・カウント
スローインの8秒とフロントコートまでの12秒をカウントする

コーチ・タイムアウト
コーチによる1分間のタイムアウト

イクイップメントタイムアウト
選手の車いすや装備の不具合により修理や調整が必要な場合に、選手が自らとることが出来るタイムアウトのこと（1分以内）

サブスティチューション
選手交代。トライ以外で試合が停止しているときに交代ができる

ヘルドボール
2人以上の対戦相手との間でボールが動かなくなる場合や、ボールの所有がいずれのチームか不明なとき

ファウル
反則行為をしたとき

オフェンシブ・ファウル
オフェンスのチームによるファウル

バイオレーション

トゥエルブ(12)・セカンズ・バイオレーション
12秒以内にフロントコートまでボールを運ばなければならない

フォーティ(40)・セカンズ・バイオレーション
40秒以内にトライしなければならない

エイト(8)・セカンズ・ドリブル・バイオレーション
ボールを持っている選手は、8秒ごとに少なくとも1度はパスまたはドリブルをしなければならない

エイト(8)・セカンズ・イン・ザ・キー・バイオレーション
オフェンスの選手は対戦するチームのキーエリアに8秒以上とどまってはならない

ファウル

バックコート・バイオレーション
フロントコートでボールを所有しているチームは、バックコートに戻ったりボールをバックコートに戻してはいけない

アウト・アンド・イン・バイオレーション
ボールを持っている選手は車輪の1つがトライラインからコート外に出た後トライをせずにコートに戻ってはいけない

フィジカル・アドバンテージ
ボールを持っている選手は、車いすの車輪以外は、身体と車いすのどの部分も床に触れてはならない

チャージング・ファウル
過度なスピードと威力を用いて、危険な衝突をすること

コンタクト・ビフォア・ザ・ホイッスル・ファウル
試合が中断している間、対戦相手に悪質、あるいは有利なコンタクトを行うこと

フォー・イン・ザ・キー・ファウル
ディフェンスの選手がキーエリアに4人入ってしまうこと

ホールディング・ファウル
相手の選手や車いすを押さえつけたり、もたれかかったりすること

リービング・ザ・コート・ファウル
ボールを持ってない選手がトライラインから外に出ること。またボールを持っていない選手がアドバンテージを得るためにコート外に出ること

プッシング・ファウル
対戦相手をイリーガル・ポジションに押し込むために、押し続けること

イリーガル・ユーズ・オブ・ザ・ハンズ・ファウル
自分の有利のために対戦相手の身体や手などに触ったり叩いたりすること

スピニング・ファウル
後輪の軸より後方に衝突し、相手の車いすをスピンさせ、バランスを失わせる行為のこと

ワン(1)メーター・ファウル
選手がスローインを行う位置のラインから半径1メートル以内に入った場合

テクニカル・ファウル
試合管理上の誤りや容認できない無礼な態度などの違反行為。ペナルティ・トライにはならない

フラグラント・ファウル
故意にファウルを犯し、対戦相手をおびやかすことが目的であることが明確である場合。3つ分のペナルティを受ける

車いすラグビーはテーブルオフィシャル審判・TOにも注目!!

審判は、試合をルール（競技規則）に則って厳密かつ円滑に進行・成立させる役割を担います。テーブルオフィシャル（TO）は、車いすラグビーの試合を運営する上で、審判と協力し、試合時間の管理や記録を行います。試合前には、タイマーの設置・確認や各種シートの作成などもTOが行います。

2023.12.01 初稿/2025.01.01 ルール改訂に伴い第二稿
日本車いすラグビー連盟 作成